

事業所における自己評価結果（公表）

公表:平成 31年 3月 1日

事業所名 四天王寺悲田院児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	34	2	懇談等の個室が必要な際には、適宜、他部署職員と相談し調整して利用している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	26	10	職員の配置数を毎日調整している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	20	指導訓練室が広く集中できない児がいるため、ロッカーの配置を工夫する等で空間を区切り対応している。	・現在、指導訓練室から緊急時の連絡の発信ができない状況だが、事務所に置いたままになっている通信設備を緊急時の発信を事務所に伝えられるよう各クラスに設置する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	10		寒さ対策等改修を計画的に実施し、利用児にとって心地よく過ごせる環境の整備に努める。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	20	11		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	28	5		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	36		今回が初めての実施であるが、今後も継続的に実施し支援の質の向上に努めていく予定。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	23		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	28	6	短時間労働職員が研修に参加しやすいよう施設に講師を呼んだり、施設内研修を多く実施している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか	28	6		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	20	10		より子どもの状況を把握できるよう、アセスメントシートを更新する。
	12	個別支援計画書には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	33	1		
	13	個別支援計画書に沿った支援が行われているか	33	3		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	29	6		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	30	3		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	28	5		
	17	24	11	業務上、支援開始前に伝えることができない時には、ノートに記載して周知している。	
	18	21	14	当日に時間がとれない時には別日に伝えたり、メモや伝言で伝えている。	
	19	30	5		
	20	27	6		
関係機関や保護者との連携	21	23	7		
	22	24	7		
	23	20	7		
	24	19	8		
	25	30	4	移行するほとんどの児の移行先の先生にセンターでの児の様子を見学頂き話し合いの場を設けている。	
	26	27	3		
	27	19	12	当センター利用児が他の事業所を利用している際に、他事業所での様子を見学し取り組み内容等の連携を図っている。	他事業所と並行利用している児が多い中で、限られた児のみの実施となっているため、計画的に実施していきたい。
	28	33	3		
	29	12	16		参加しているがその内容を職員に十分伝達できていない。会議等で伝える。
	30	33	3		
	31	30	4		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 重要事項説明書、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	23	4		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか	26	4		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	33	3		
	35 親の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	27	7		
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	3		
	37 定期的に園だより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	34	2		
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	35	1		
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	33	3		
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	24	7		
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	29	4	
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		35	1		
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		34	2		
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		32	3		
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		31	2		
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		27	5		
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか		19	8		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。